



**種名**：オオクチバス *Micropterus salmoides*

**分類**：特定外来生物※ 純淡水魚 北米原産

※特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

## ○大きさ

- ・成魚：30～60cm

## ○生息箇所（すみか）

- ・利根川や霞ヶ浦の全域に生息しています。
- ・適応できる環境の幅がひろい。

## ○生態（どんな生活をしているか）

- ・非常に強い肉食で魚類を中心に食べます。
- ・4～5月が産卵期。オスが卵とふ化直後の稚魚を守ります。

## ○釣りや漁業

- ・スポーツフィッシング文化の象徴で、ルアーが主な釣り方です。
- ・漁業や水産利用(すいさんりよう)は殆どありません。
- ・獰猛(どうもう)な魚のため、水産業の大きな障害になっています。
- ・特定外来生物に指定されているため、捕獲したオオクチバスを生きのまま他の河川や湖、沼に移動することは法律で禁止されています。

## ○地域利用

- ・オオクチバスは食用や釣りの目的で大正14年に神奈川県のアサノ湖に放されました。1970年代に分布が急拡大しました。
  - ・日本ではほとんど食用利用はされていませんが、ていねいに下処理をするとたんぱくな白身魚として食べることができます。アメリカではソテー(レモンとタイム添え)やフィッシュ&チップスがポピュラーです。
- ※寄生虫のリスクがあるため、十分な加熱が必要です。